

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	IPPO須磨校		
○保護者評価実施期間	2025年 01月 13日		2025年 01月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	2025年 01月 13日		2025年 01月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	通所を楽しみにしてくれている児童が多い。	職員で話し合い、子ども一人ひとりの発達状況も考慮し、楽しみながら取り組める療育内容を検討している。	今後も引き続き、児童が楽しみにできるような活動を取り入れながら、発達に合わせた支援を行う。
2	職員同士よく話し合い、連携が取れている。	日常的に療育についての相談や意見を言い合える関係・環境をつくり、よりよい支援を行えるよう心がけている。日々、子どもの様子や活動を振り返る時間をつくり、話し合っている。	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けに非常時の対応の情報共有が足りていない。避難訓練等実施している取り組みを伝えきれていない。	定期的に訓練を実施しているが、周知されていない。	子どもの安全のための措置を再度簡潔にまとめ周知して保護者との情報共有に繋げる。
2	年齢や体が大きい児童が多く、療育スペースの狭さを感じてしまう。	療育スペースは必要な広さを確保できているが、使い方やタイミング(集団での運動療育時)で狭さを感じてしまうことがある。	療育スペースの広さを広げることは現実的に難しいので、プログラムに少人数制を導入するなど、活動内容を工夫する。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		IPPO須磨校				公表日		2025年 3月 3日	
						利用児童数		36名 回収数 29枚	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	2	0	1	・足りているとは思いますが、もう少し 広くてもいいかなと感じます。 ・子どもがそんなに広くないと言ってい ました	施設自体は100㎡以上を確保しておりま すが、小人数にわけて活動を行うなど工 夫してまいります。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1	0	5	・どういった職種の先生が何人くらいい らっしゃるのか、よくわかっていません			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	0	0	0				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います か。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	0	0	1		感染予防に留意し、居心地の良い生活空 間の確保に意識して取り組みます。		
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	27	2	0	0	・子どもに対して専門的な対応がどれな のか分かりにくい気がします。	個々の発達段階や特性、ニーズを職員が 共通理解し安心して過ごせる環境を整え るよう努めます。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	29	0	0	0				
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成さ れていると思いますか。	27	0	0	2	・定期的に特性に応じて計画を作ってく ださっています。	引き続き、児童と保護者のニーズに基づ き、アセスメント・課題整理を適切に 行ったうえで個別支援計画を作成しま す。		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	28	0	0	1		子どもの特性や発達状況を踏まえ、5領 域に関する具体的な支援内容を設定して いきます。		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	0	0	1		個々の目標を達成できるように、職員が 個別支援計画を周知し、計画に沿った支 援提供に努めています。		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	26	1	0	2	・子どもが楽しく運動できるよう、様々 なルールのゲームを考えて療育に取り入 れておられ、とてもおもしろいと思いま す。	5領域を意識し、今後も楽しく取り組め るようなプログラムを工夫してまいりま す。		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機 会がありますか。	9	1	3	16	・IPPO合同運動会はすごく楽しかった です。			
保 護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	28	1	0	0	・中学生になつての利用の違いを早めに 知りたかったです。	今後はもう少し早くお伝えできるよう改 善していきます。		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	28	0	0	1		丁寧な説明を行い、ご質問に関してもお 答えしてまいります。		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	9	1	4	15	・支援計画についての説明で、現状必要 なことは充分理解できています。			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況 について共通理解ができていると思いますか。	26	2	0	1	・私から気になる時は伝えさせてもらっ てると思ってます。 ・いつも送迎の際に色々お話しさせてい ただいてます。 ・できていると思うがもう少し対話が 多くてもいいかと思います	安心して利用していただけるよう、今後 も、LINEや対面、必要時は電話連絡を行 い保護者の方との情報共有に努めてまい ります。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	3	2	1	・定期的にやりとりさせてもらってま す。	お申し出があれば随時対応させていただきます。		

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	0	0	1	・いつも共感的にしてもらっていると思います。	児童、保護者に寄り添いながら、安心して信頼していただけるよう、こまやかな配慮と情報共有・連絡を行い、支援を行ってまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	9	10	・積極的に交流していないので不明です	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	0	0	2	・説明はあったと思いますが、対応については分かりません。	相談窓口、相談者を設け、重要事項説明書に明記し、契約時に説明させていただいています。引き続き、丁寧に対応します。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	0	0	1	・迎えの際、いつも伝達して下さっています。	今後も十分な意思疎通や正確な情報伝達ができるよう配慮します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	0	0	0	・連絡システムの利用にもだいぶ慣れてきました。ペーパーレス化が進んでおり、とても楽です。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	2		個人情報の取り扱いについては事前に承諾を得て、十分に留意をしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	0	1	2	・非常時に対応、マニュアルがあるなら再度分かりやすく提示をお願いします。	非常時に備えた対応マニュアルを作成し職員全員が適切に対応できるよう日ごろから確認・訓練を行っております。改めて、提示・説明してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	0	1	9		定期的に訓練を実施しております。今後はその内容を発信するよう努めていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	0	0	3		安全確保に努め、支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	0	0	4		事故や怪我等が発生した場合には、速やかに連絡し、状況等について説明を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	1	0	0	・いつも楽しみにしています。	より安心して通所してもらえる施設になれるよう努力してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	1	1	0	・毎回楽しみにしています。 ・「えー行かなあかんの？」と言っています。	特性をふまえた個別支援を大切に、活動内容が固定しないようバリエーションを持ち、興味・関心を持って楽しんでいただけるよう工夫しています。今後もより楽しんで通所していただけるよう尽力します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	1	0	0	・親ではしてあげるのが大変な事もあるので助かっています。 ・たいへん良くしていただいていると思っております。	今後も皆様に満足していただける支援を提供できるよう努力してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		IPPO須磨校		公表日		2025年 3月 3日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		小人数に分けて活動するなど工夫しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		職員の配置数は基準を満たしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		子どもたちに分かりやすい配置、掲示物にも配慮している。	視覚支援をもう少し多用するよう心がける。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日、清掃・消毒を行い清潔に子どもたちが心地よく過ごせるようにしている。 感染症予防のため、次亜塩素酸水で除菌清掃しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		子どもの様子に応じて、個別に部屋を使用しています。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		毎日支援前後に話し合い、改善実行できるように職員全員で情報共有しています。	PDCAサイクルを心がけ、現状把握と課題の共有に努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価表をもとに、職員全体で確認し、改善すべき提案については話し合いをしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々、職員間で話し合いの機会をもうけ、気になることがあれば伝えられています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		保護者向けの事業所評価アンケートでの意見をもとに職員間で改善につながる話し合いを実施している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		社内研修、事業所内研修を定期的に行っています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			ホームページに公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		定期的にあセスメントを行い、児童の状況や保護者様のご意向を踏まえ適切に支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		子どもに関わる職員が共通理解を図るため、ミーティングを行い情報共有しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		ミーティングでの情報共有を行い、職員が個別支援計画をいつでも確認できるようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		日々の振り返りの時間や会議等の中で子どもの様子について話し合う時間をつくり職員間で共有している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえて個別支援計画に反映、作成しています。	子どもの特性や発達状況を踏まえ、5領域に関する具体的な支援内容を設定していきます。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	職員全員で話し合い子どもたちが楽しく色々な体験ができるように考え活動プログラムを作っています。	利用者や保護者の意見も踏まえながら活動プログラムを検討していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	基本的な流れは利用者の安定のため変えないようにしているが内容は前回の活動と重ならないように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	子どもの発達段階に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	毎日、朝礼で当日の流れや支援内容・役割分担について確認しチームで連携し行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	送迎等で難しい場合もありますが、支援の中で気づいた点や気になることなどなるべくその日のうちに職員間で伝えあい共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	業務日報・個別記録にて日々気づいた点、その日の様子を記録し振り返りを行っています。その都度、職員間での連携・情報共有を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	定期的なモニタリングを実施し、保護者様と児童の現状把握・振り返りを行ったうえで見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	さまざまな体験ができるよう、自立支援（生活）や作業、制作、余暇等の活動プログラムを企画して支援を行っている。	個々のニーズ、支援目標によりそった内容を再検討していく。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	活動の中で自己選択する等の場面を設けながら支援しています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	子どもの状況をよく理解した職員等が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	必要に応じて関係機関との連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	行事や下校時刻は保護者を通して情報を得ています。学校への連絡調整は適切に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	連携をとりながらスムーズな移行に取り組んでいます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	必要に応じて、支援内容等の情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	送迎時に伝えるように心がけていますが、なかなかお会いできない保護者様とはLINEやお電話で情報共有しています。	話しやすい相談支援体制を構築するよう努めます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		実施できるように職員の知識等を習得していきたい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	契約時には、利用契約書・重要事項説明書を通して丁寧に説明することを心がけています。	利用者負担は単位や加算などが分かりにくいので周知方法に工夫が必要。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		子どもと保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえ計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		作成した計画を保護者とともに見ながら具体的に説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		子どもの現況に応じて保護者様とお話しし、悩みや相談に適切に対応するように心がけています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		電話や申し入れがあった場合、迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し契約時に説明しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		HP、Instagram、YouTube等を活用し、情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報が記載された書類は鍵付きの棚に保管しています。職員間でも守秘義務について確認している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		子どもの特性などを把握し、保護者の意思確認し情報共有に配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		定期的に訓練を実施しています。	各種マニュアルの見直しは適宜行い、様々な訓練を実施し、災害対策への意識を高めていくよう努める。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			今後は、さまざまな状況に合わせた内容の訓練を行えるようにしていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		契約時に保護者様より一人ひとり聞き取り配慮し、職員間で情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		契約時に保護者様より一人ひとり聞き取り配慮し、職員間で情報共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			感染症対応マニュアルにそって嘔吐処理の研修を行ったり、様々な場面に想定した避難訓練を実施していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			災害等のマニュアルの掲示、送迎車利用時の注意事項、避難訓練実施等、適宜説明し周知していけるよう努める。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット事例が起こった際には、報告書を作成・保管し職員間で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止委員会の設置に加え、定期的に研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束の必要性などを検討する場を設けています。		